

第12回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

～船橋市 御瀧不動尊金蔵寺とアンデルセン公園～

当番世話人 木頃勝紀

第12回歴史&ハイキング愛好会例会は東京の桜の開花が告げられて5日目の平成28年3月26日（土）に実施しました。前日からの低気温で薄曇りという花見にふさわしくない天候でしたが22名の方が待ち焦がれていたかのように参集されました。まずJR総武線津田沼駅10時に17名が集まり、新京成電鉄津田沼駅から瀧不動駅で降りて、反対方向から到着した5名と合流して最初の目的地である御瀧不動尊金蔵寺に向かった。

この御瀧不動尊金蔵寺（コンゾウジ）は、室町時代（1423年）称光帝の御世に能勝阿闍梨によって創建。以来600年余り霊験限りない御瀧不動様として数多くの人々の信仰を深め集めてきました。敷地面積1万2000坪に、樹齢100年の古木から御瀧公園まで約200本の桜は見事だという触れ込みでしたが残念ながらまだ2～3分の咲きであった。

次に隣駅の三咲駅からバスによる移動15分でふなばしアンデルセン公園に着いた。

このふなばしアンデルセン公園は1996年に開園したが、地元でも一部の人以外にはあまり知られていなかった。ところが、世界最大級の米国の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」が2014年の投稿数や口コミ評価から選んだ国内テーマパークランキングで、1位ディズニーランド、2位ディズニーシーで3位がふなばしアンデルセン公園で4位のユニバーサルジャパンをかわし、前年の10位から大きく躍進した。こうした点がインターネットで世界に発信され、近年は中国、韓国、台湾からの訪問者も目立つようになった。

アンデルセン公園はワンパク王国、メルヘンの丘、子ども美術館、自然体験、花の城の5つのゾーンからなる面積36万7000㎡の広大な総合公園で、北ゲートからの桜並木はまだ2～3分咲きだったが園内には至る所に手入れの行き届いた花壇が目を楽しませてくれる。芝生広場には各々が持ち込んだビーチテントが花開き、無料の遊具が沢山あり子供達が歓声をあげてのびのびと遊び回っていた。

入場料は大人900円（年間パスポート3000円）幼児（4歳以上）100円（パスポート400円）という低料金も人気の所以であろう。ちなみに65歳以上は無料です。

園内では各自思い思いに散策し途中でレストランでの食事や売店やワゴン車のフードショップで食べ物を調達などして2時間ほど過ごしたがとてもまわりきれず退出した。

15時30分には途中用事で帰宅した3名を除き19名が出発地津田沼に戻り居酒屋での飲み会で大いに語り盛り上がり17時に解散しました。

* JR 津田沼駅で



* 新京成電鉄滝不動駅で



* 不動駅より御瀧不動尊に向かう





* アンデルセン公園 北ゲートでの集合写真



< 参加者（敬称略） >

上段：岩田芳秀、山田昌之、浦上宜明、中島公一、川股賢三、小澤敏宣、川島省三、小口健一郎

住田勝治、宮武亨、植野郁夫、川上昇

下段：白岩仙一、日野峯治、野田 佑、南雲玉夫、平木行雄、木頃勝紀、宇田川修笹、牧田賢一、六角 学

*アンデルセン公園で、木頃世話人から園内の説明



